

～第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画～

U・優プランⅡ

第2期推進計画 進捗状況

(平成29年度～令和3年度)

【事業別】



令和4年10月

UD・男女共同参画課

U・優プランⅡ（第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画）第2期推進計画 体系図

基本計画		
基本目標	基本方針	基本施策
I 思い合い、認め合う “こころ” 	(1) お互いの個性を理解し 共生する心	① 学校教育における心のUDの推進
		② 地域・家庭における心のUDの推進
	(2) みんなで広めるUDの心	① 市民協働によるUDの推進
		② UDを推進する人材の育成
II みんなで支え合う “しくみ” 	(1) 地域で支え合う社会の 仕組み	① 高齢者・障がい者の社会参加の推進
		② 女性が活躍しやすい環境の整備
		③ 多文化共生社会の推進
	(2) 地域産業と進めるUDの 仕組み	① 誰もが訪れやすく、暮らしやすい環境整備
	(3) 誰もが情報を共有できる 仕組み	① 情報のUD化とUD情報発信
III 誰もが暮らしやすい “まち” 	(1) 公共施設等が利用 しやすいまち	① 誰もが利用しやすい施設
		② 快適で安全な公共交通
		③ みんなにやさしい道づくり
	(2) 誰もが安全・安心に 暮らせるまち	① 安全・安心な防災体制の充実

第2期推進計画				ページ 番号
事業No.		主な担当課		
1	UD学習支援事業	UD・男女課	5	
2	教職員UD研修	UD・男女課、教育センター	6	
3	福祉体験講座	障害保健福祉課	7	
4	多様性理解のための教育	指導課	7	
5	共生・共育推進事業	指導課	8	
6	はままつUD週間	UD・男女課	9	
7	地域のUDふれあい事業	UD・男女課、各区振興課	10	
8	保護者へのUD啓発	UD・男女課	11	
9	世代間交流事業	幼児教育・保育課	11	
10	職員へのUD研修	UD・男女課	12	
11	みんなで広める！UD提案事業	UD・男女課	13	
12	UDサポーター事業	UD・男女課	13	
13	ユニバーサルマナーセミナー	UD・男女課	14	
14	UD学習支援ガイド派遣事業	UD・男女課	15	
15	UD実践セミナー	UD・男女課	15	
16	シルバー人材センター支援	高齢者福祉課	16	
17	アクティブ・シニア講座	創造都市・文化振興課	17	
18	障害者就労支援事業	産業振興課	18	
19	企業伴走型障害者雇用サポート事業	障害保健福祉課	18	
20	特性の違いを超えたスポーツ交流事業	スポーツ振興課	19	
21	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業	産業振興課	20	
22	女性活躍支援事業	UD・男女課	20	
23	地域で活躍する女性育成講座	UD・男女課	21	
24	女性就労支援事業	産業振興課	22	
25	子育て情報センター運営事業	子育て支援課	23	
26	多文化共生センター事業	国際課	24	
27	多言語生活情報サイト「カナルハママツ」	国際課	24	
28	外国人学習支援センター事業	国際課	25	
29	ユニバーサルツーリズム受入環境整備	観光CP課	26	
30	わかりやすい案内サインの設置	道路企画課	26	
31	UDプラスinはままつ等の官民連携事業	UD・男女課	27	
32	浜松市商業者連携促進支援事業	産業振興課	27	
33	UDビジネスセミナー	UD・男女課	28	
34	広報はままつ等のUD化	広聴広報課	29	
35	ICTを活用した遠隔手話通訳サービス	障害保健福祉課	30	
36	タブレット端末等を利用した多言語通訳	国際課	30	
37	音声文字化変換システム	UD・男女課	31	
38	わかりやすい印刷物作成の手引き作成	UD・男女課	31	
39	地域のUD情報等発信	観光CP課	32	
40	SNS等を活用したUD情報発信	UD・男女課	32	
41	公共建築物等のUD化推進	公共建築課	33	
42	公園のUD化推進	公園課	33	
43	スポーツ施設のUD化推進	スポーツ振興課	34	
44	民間交通事業者UD化支援	交通政策課	35	
45	JR天竜川駅のUD化整備	道路企画課	35	
46	道路施設のUD化推進	道路企画課	36	
47	自転車道の整備	道路企画課	36	
48	災害情報伝達手段の整備	危機管理課	37	
49	土砂災害警戒区域の警戒避難体制の整備	危機管理課	37	
50	消防情報通信ネットワーク事業	情報指令課	38	

◆進捗管理について

・U・優プランⅡ第2期推進計画に掲載された推進事業の年度計画に対する実績と進捗状況を年度毎に把握し、進捗管理を図るものです。

・達成状況は、分かりやすく表すために、下記の基準により分類しました。

・分類方法は、推進事業の年度計画が数値の場合は達成率(実績数値÷年度計画数値)、数値でない場合は実績の状態で分類しました。

- 【達成基準】**
- ◎ 計画どおり達成 (達成率100%)
 - 概ね達成 (達成率70%以上～100%未満)
 - △ 一部実施 (達成率70%未満)
 - × 未実施 (実施予定だったが、実施できなかった事業)
 - 実施予定なし、事業完了、事業廃止等

◆年度別・基本目標別・達成状況

年度		H29							
基本目標		I		II		III		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	8	17.8%	16	35.6%	9	20.0%	33	73.3%
	○	5	11.1%	6	13.3%	1	2.2%	12	26.7%
	△	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	×	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
取組数計		13		22		10		45	100%

年度		H30							
基本目標		I		II		III		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	9	18.8%	19	39.6%	8	16.7%	36	75.0%
	○	6	12.5%	4	8.3%	2	4.2%	12	25.0%
	△	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	×	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
取組数計		15		23		10		48	100%

年度		R1							
基本目標		I		II		III		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	7	14.3%	20	40.8%	7	14.3%	34	69.4%
	○	6	12.2%	2	4.1%	2	4.1%	10	20.4%
	△	2	4.1%	3	6.1%	0	0.0%	5	10.2%
	×	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
取組数計		15		25		9		49	100%

年度		R2							
基本目標		I		II		III		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	5	10.0%	16	32.0%	7	14.0%	28	56.0%
	○	4	8.0%	4	8.0%	3	6.0%	11	22.0%
	△	5	10.0%	3	6.0%	0	0.0%	8	16.0%
	×	1	2.0%	2	4.0%	0	0.0%	3	6.0%
取組数計		15		25		10		50	100%

年度		R3							
基本目標		I		II		III		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	6	12.2%	16	32.7%	6	12.2%	28	57.1%
	○	5	10.2%	3	6.1%	3	6.1%	11	22.4%
	△	3	6.1%	5	10.2%	0	0.0%	8	16.3%
	×	1	2.0%	1	2.0%	0	0.0%	2	4.1%
取組数計		15		25		9		49	100%

年度		5年間の総括							
基本目標		I		II		III		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	7	14.0%	17	34.0%	8	16.0%	32	64.0%
	○	5	10.0%	7	14.0%	2	4.0%	14	28.0%
	△	3	6.0%	1	2.0%	0	0.0%	4	8.0%
	×	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
取組数計		15		25		10		50	100%

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	① 学校教育における心のUDの推進

U・優プランⅡ基本計画に記載された「基本目標」、「基本方針」、「基本施策」(2～3ページ体系図参照)

事業No. 事業名	1	UD学習支援事業	担当課 UD・男女課	
事業内容	市内小中学生を対象として、ユニバーサルデザイン学習資料の配布をはじめ、出前講座等の学習支援を市民協働で実施し、心のユニバーサルデザイン(思いやりの心)を広めます。			
5年間の目標	UD学習支援事業受講者数 5年間計47,500人			
年度計画		年度計画	実施内容	評価
	H 29	UD学習支援事業受講者数 9,000人	UD学習支援事業受講者数 10,230人	◎
	H 30	UD学習支援事業受講者数 9,250人	UD学習支援事業受講者数 11,119人	◎
	R 1	UD学習支援事業受講者数 9,500人	UD学習支援事業受講者数 9,105人	○
	R 2	UD学習支援事業受講者数 9,750人	UD学習支援事業受講者数 9,555人	○
	R 3	UD学習支援事業受講者数 10,000人		
総括	年度計画 ※平成30年度中に各課に調査			5年間の目標に対する総括と達成状況

U・優プランⅡ推進計画に記載された「推進事業No.」、「事業名」、「担当課」(2ページ体系図参照)

U・優プランⅡ推進計画に記載された「事業内容」
※5年間の目標は平成29年度中に各課に調査

年度ごとの実施内容と年度計画に対する達成状況

5年間の目標に対する総括と達成状況

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	① 学校教育における心のUDの推進

事業No. 事業名	1	UD学習支援事業			担当課
					UD・男女課
事業内容	市内小中学生を対象として、ユニバーサルデザイン学習資料の配布をはじめ、出前講座等の学習支援を市民協働で実施し、心のユニバーサルデザイン(思いやりの心)を広めます。				
5年間の目標	UD学習支援事業受講者数 5年間計47,500人				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	UD学習支援事業受講者数 9,000人	UD学習支援事業受講者数 10,230人	◎	
	H 30	UD学習支援事業受講者数 9,250人	UD学習支援事業受講者数 11,119人	◎	
	R 1	UD学習支援事業受講者数 9,500人	UD学習支援事業受講者数 9,105人	○	
	R 2	UD学習支援事業受講者数 9,750人	UD学習支援事業受講者数 7,759人	○	
	R 3	UD学習支援事業受講者数 10,000人	UD学習支援事業受講者数 9,252人	○	
総括	R1～R3はコロナ禍により目標値を下回ったが、オンライン開催など感染対策を行い実施したため、5年間で47,465人と目標を99%達成することができた。				○

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	① 学校教育における心のUDの推進

事業No. 事業名	2	教職員UD研修			担当課
					UD・男女課、教育センター
事業内容	市立小中学校教員等を対象として、ユニバーサルデザインに関する研修を実施し、教員の知識と関心を深め、ユニバーサルデザイン学習の挿入促進を図ります。				
5年間の目標	教職員UD研修受講者数 5年間計500人				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	教職員UD研修受講者数 100人／年	教職員UD研修受講者数 122人	◎	
	H 30		教職員UD研修受講者数 139人	◎	
	R 1		教職員UD研修受講者数 135人	◎	
	R 2		教職員UD研修受講者数 140人	◎	
	R 3		教職員UD研修受講者数 147人	◎	
総括	5年間の目標値500人に対し、実績は683人であった。No1.UD学習支援事業への波及効果も踏まえて、教職員の知識と関心を深めUD学習の促進をすることができた。				◎

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	① 学校教育における心のUDの推進

事業No. 事業名	3	福祉体験講座	担当課	
			障害保健福祉課	
事業内容	車いすやアイマスクなどを用いた疑似体験を通じて、身体に障がいのある人への理解を深めます。			
5年間の目標	福祉体験講座受講者数 5年間計4,920人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	福祉体験講座受講者数 1,020人	福祉体験講座受講者数 1,007人	○
	H 30	福祉体験講座受講者数 1,060人	福祉体験講座受講者数 1,277人	◎
	R 1	福祉体験講座受講者数 1,100人	福祉体験講座受講者数 660人	△
	R 2	福祉体験講座受講者数 1,140人	福祉体験講座受講者数 577人	△
	R 3	福祉体験講座受講者数 600人	福祉体験講座受講者数 600人	◎
総括	コロナ禍で外出や体験型のイベントが敬遠される中、目標値には達しなかったが、多くの方が障がいへの理解を深めることができた。			○

事業No. 事業名	4	多様性理解のための教育	担当課	
			指導課	
事業内容	総合的な学習の時間等を通して、障がい者等の様々な人々の特性や生活習慣に対する理解を深め、お互いの違いを認めることで、思いやりの心を育てます。			
5年間の目標	総合的な学習の時間等を通して、学校教育における心のUDの推進を図る			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	福祉に関する学習を実施した市立小・中学校の割合100%	小学校:97校中91校で実施(約94%) 中学校:49校中31校で実施(約63%)	○
	H 30		小学校:97校中94校で実施(約97%) 中学校:49校中28校で実施(約57%)	○
	R 1		小学校:97校中93校で実施(約96%) 中学校:49校中29校で実施(約59%)	○
	R 2		小学校:97校中87校で実施(約90%) 中学校:49校中29校で実施(約59%)	○
	R 3		小学校:97校中87校で実施(約90%) 中学校:49校中32校で実施(約65%)	○
総括	思いやりの心を育て、様々な人々の特性や生活習慣に対する理解を深めるため、総合的な学習の時間を活用し、心のUDの推進を図ることができた。			○

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	① 学校教育における心のUDの推進

事業No. 事業名	5	共生・共育推進事業			担当課
					指導課
事業内容	障がいのある子供が地域の中で共に豊かに生活できる社会を実現するため、健常児と障がいのある子供の交流を中心とする「共生・共育」を行うことで、各学校の発達支援教育事業の充実を図ります。				
5年間の目標	特別支援学校在籍児童生徒で交流及び共同学習希望者の受け入れ 直接交流または間接交流で100%実施				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	希望者受け入れ 100%	小学校40校73人、中学校10校16人の交流希望があった。希望者を100%受け入れることができた。	◎	
	H 30		小学校44校82人、中学校9校12人の交流希望があった。希望者を100%受け入れることができた。	◎	
	R 1		小学校60校131人、中学校15校26人の交流希望があった。希望者を100%受け入れることができた。	◎	
	R 2		小学校57校106人、中学校23校33人の交流希望があったが、新型コロナ拡大防止の観点からキャンセルがあり、実際の受け入れは79%であった。	○	
	R 3		小学校53校111人、中学校25校48人の交流希望があった。新型コロナ拡大防止によるキャンセルは減少し、実際の受け入れは97%であった	○	
総括	特別支援学校に在籍し、居住地の小中学校で交流を希望する児童生徒数は年々増加傾向にある。コロナウイルス感染症予防のため授業に参加する直接交流が減り、図作品や動画の交換などの間接交流が増えてきている。				◎

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	② 地域・家庭における心のUDの推進

事業No. 事業名	6	はままつUD週間	担当課 UD・男女課	
事業内容	11月1日を含む週を「はままつユニバーサルデザイン週間」とし、関連事業を実施して心のユニバーサルデザイン(思いやりの心)を啓発します。			
5年間の目標	UD週間開催回数 5年間計5回			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	UD週間の開催	「はままつUD週間」を10.30～11.5の期間に実施。 内容:パネル展示、UD製品展等、UD講演会(UD提案事業)	◎
	H 30		「はままつUD週間」を10.29～11.4の期間に実施。 内容:市役所にてパネル展示、UD製品展 中央図書館、城北図書館にてUD啓発、心のUD絵本や図書の紹介など	◎
	R 1		「はままつUD週間」を10.28～11.3の期間に実施。 内容:市役所にてパネルやピクトグラム選手権入賞作品を展示	◎
	R 2		「はままつUD週間」を10.26～11.1の期間に実施。 内容:市役所・中央図書館・城北図書館にてパネルやピクトグラム選手権入賞作品を展示	◎
	R 3		「はままつUD週間」を11.1～11.7の期間に実施。 内容:市役所・城北図書館にてパネルやピクトグラム選手権入賞作品を展示	◎
総括	図書館での展示があることで平日の市役所に加え土日祝日も取り組むことができた。感染症対策のため、製品に触れるUD体験の実施方法を検討する必要がある。		◎	

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	② 地域・家庭における心のUDの推進

事業No. 事業名	7	地域のUDふれあい事業	担当課 UD・男女課、各区振興課	
事業内容	各区役所において、ユニバーサルデザインの啓発事業を実施し、地域でユニバーサルデザインを広めます。			
5年間の目標	各区役所でのUD啓発事業参加者数 5年間計7,300人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	各区役所でのUD啓発事業 参加者数 1,400人	各区役所でのUD啓発事業 参加者数計 1,996人	◎
	H 30	各区役所でのUD啓発事業 参加者数1,450人	各区役所でのUD啓発事業 参加者数計 2,342人	◎
	R 1	各区役所でのUD啓発事業 参加者数1,450人	各区役所でのUD啓発事業 参加者数計 2,415人	◎
	R 2	各区役所でのUD啓発事業 参加者数1,500人	各区役所でのUD啓発事業 参加者数計 2,016人	◎
	R 3	各区役所でのUD啓発事業 参加者数1,500人	各区役所でのUD啓発事業 参加者数計 2,410人	◎
総括	5年間で11,179人参加で目標を達成できた。コロナ禍による感染対策のため、UD製品に触れて体験することができないという面もあったが、親子で訪れた市民も多く家族でUDについて話す良い機会となった。			◎

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	① 地域・家庭における心のUDの推進

事業No. 事業名	8	保護者へのUD啓発		担当課
				UD・男女課
事業内容	児童・生徒とその保護者を対象として、ユニバーサルデザイン体験講座等の事業を行い、親子でユニバーサルデザインについて関心を持ってもらうとともに、子供たちの学習効果を高めます。			
5年間の目標	親子を対象とした啓発イベント参加者数 5年間計690人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 120人	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 116人	○
	H 30	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 130人	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 105人	○
	R 1	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 140人	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 62人	△
	R 2	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 150人	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 16人	△
	R 3	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 150人	親子を対象とした啓発イベント 参加者数 19人	△
総括	コロナ禍により、R1年以降は実施できないイベントがあり、5年間で318人と目標は達成できなかった。			△

事業No. 事業名	9	世代間交流事業		担当課
				幼児教育・保育課
事業内容	児童と高齢者がふれあいを通して、思いやりやいたわりの心を育むため、市立保育園に通う児童と高齢者が交流する事業を行います。			
5年間の目標	毎年度、全ての市立保育園で事業実施する			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	事業実施園数 20園(市内全保育園)／年 ※H30年度までは21園	市立保育園(21園)で、児童と高齢者が交流できる事業を実施	◎
	H 30		市立保育園(21園)で、児童と高齢者が交流できる事業を実施	◎
	R 1		市立保育園(20園)で、児童と高齢者が交流できる事業を実施	◎
	R 2		市立保育園(12園)で、児童と高齢者が交流できる事業を実施	△
	R 3		市立保育園(11園)で、児童と高齢者が交流できる事業を実施	△
総括	コロナ禍により、R2年以降は実施方法を見直し、接触が少ない方法で実施するなどの工夫をし、訪問しての交流を中止したため目標を達成することができなかった。			△

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(1)お互いの個性を理解し共生する心
基本施策	① 地域・家庭における心のUDの推進

事業No. 事業名	10	職員へのUD研修			担当課
					UD・男女課
事業内容	各部署の事業や施策等にユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、また市民サービスの向上を目的として、職員向け研修を実施します。				
5年間の目標	職員対象のUD研修受講者数 5年間計1,450人				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	UD研修受講者数 350人	UD研修受講者数 317人	○	
	H 30	UD研修受講者数 200人	UD研修受講者数 171人	○	
	R 1	UD研修受講者数 350人	UD研修受講者数 286人	○	
	R 2	UD研修受講者数 200人	UD研修受講者数 105人	△	
総括	R 3	UD研修受講者数 350人	UD研修受講者数 279人	○	
	5年間で1,158人受講した。US研修、新規採用職員研修、推進員研修を例年開催する計画であったが、コロナ禍により、実践を伴う研修は、中止したものもあるが、人数制限等の感染対策をして、実施した事業もあった。				○

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(2)みんなで広めるUDの心
基本施策	① 市民協働によるUDの推進

事業No. 事業名	11	みんなで広める！UD提案事業	担当課 UD・男女課	
事業内容	市民団体や事業者からユニバーサルデザインに関する事業提案を募集して、採択した事業について市が委託し、市民協働による事業を実施します。			
5年間の目標	UD提案事業の啓発者数 5年間計1,500人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	UD提案事業の啓発者数 300人／年	UD提案事業の啓発者数 1,334人 ・UD新聞コンクール:1,132人 ・暮らしに活かそうUD講座:39人 ・まちなかUDウォークラリー:14人 ・UD料理教室:33人 ・UD講演会:102人 ・かんざんじUD観光マップ:14人	◎
	H 30		UD提案事業の啓発者数 970人 ・UD新聞コンクール:788人 ・TGIに関する講演会・講習会:131人 ・ICT活用講座:23人 ・UDのおもてなしワークショップ:28人	◎
	R 1		UD提案事業の啓発者数 210人 ・ICT機器展:190人 ・外国人のおもてなし講座:20人	○
	R 2		UD提案事業の啓発者数 17人 ・自転車によるUD体験ワークショップ	△
R 3	UD提案事業の啓発者数 58人 ・自転車によるまちなかUD啓発体験:9人 ・やさしい日本語でコミュニケーション:49人		△	
総括	R2年度以降はコロナの影響により集客数の多い事業の提案は少なかったが、5年間で2,589人と目標が達成できた。			◎

事業No. 事業名	12	UDサポーター事業	担当課 UD・男女課	
事業内容	ユニバーサルデザインを理解し支援するUDサポーターを募集し、市民協働でユニバーサルデザインを広める活動を実施します。			
5年間の目標	UDサポーター登録者数 平成33年度末600人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	UDサポーター登録者数 累計480人	UDサポーター登録者数 累計495人	◎
	H 30	UDサポーター登録者数 累計510人	UDサポーター登録者数 累計507人	○
	R 1	UDサポーター登録者数 累計540人	UDサポーター登録者数 累計512人	○
	R 2	UDサポーター登録者数 累計570人	UDサポーター登録者数 累計521人	○
R 3	UDサポーター登録者数 累計600人	UDサポーター登録者数 累計522人	○	
総括	積極的な周知不足で、登録者を増やせなかった。			○

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(2) みんなで広めるUDの心
基本施策	① 市民協働によるUDの推進

事業No. 事業名	13	ユニバーサルマナーセミナー		担当課
				UD・男女課
事業内容	多様な方々の心理状況を考えるワークを行い多様な方々と向き合うための心の醸成と行動できる人材育成を実施します。			
5年間の目標	受講者数 4年間計80人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	—	—	—
	H 30	受講者数 20人／年	受講者数 17人	○
	R 1		受講者数 32人	◎
	R 2		受講者数 25人	◎
	R 3		受講者数 21人	◎
総括	コロナ禍でもリモート受講などで継続的に開催し、95人と目標が達成できた。			◎

基本目標Ⅰ 推進事業

基本目標	I 思い合い、認め合う“こころ”
基本方針	(2) みんなで広めるUDの心
基本施策	② UDを推進する人材の育成

事業No. 事業名	14	UD学習支援ガイド派遣事業	担当課 UD・男女課	
事業内容	小中学生等を対象にしたユニバーサルデザイン学習を市民と協働で進めるため、UD学習支援を担うことができる市民リーダーの養成を図ります。			
5年間の目標	学習ガイド登録者数 平成33年度末15人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	ボランティア登録者数 年度末計 8人	ボランティア登録者数 年度末計 6人	○
	H 30	ボランティア登録者数 年度末計 10人	ボランティア登録者数 年度末計 14人	◎
	R 1	学習ガイド登録者数 年度末計 12人	ボランティア登録者数 年度末計 14人	◎
	R 2	学習ガイド登録者数 年度末計 15人	学習ガイド登録者数 年度末計 21人	◎
	R 3	学習ガイド登録者数 年度末計 15人	学習ガイド登録者数 年度末計 21人	◎
総括	学習ガイドの登録者数21人と目標を達成できた。			◎

事業No. 事業名	15	UD実践セミナー	担当課 UD・男女課	
事業内容	ユニバーサルデザインの推進を図るため、新たな知識の習得やUDを実践する人材を育成するためのセミナーを開催します。			
5年間の目標	セミナー参加者数 4年間計120人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	—	—	—
	H 30	セミナー参加者数 30人／年	セミナー参加者 28人	○
	R 1		セミナー参加者 22人	○
	R 2		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 実施見送り	×
	R 3		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 実施見送り	×
総括	このセミナーは実践形式であるため、コロナ禍による感染拡大防止のためR2～R3は中止となった。			△

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1) 地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	① 高齢者・障がい者の社会参加の推進

事業No. 事業名	16	シルバー人材センター支援			担当課 高齢者福祉課	
		事業内容				
5年間の目標		シルバー人材センター会員数 令和3年度末 4,425人				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価		
	H 29	シルバー人材センター会員数 4,453人	シルバー人材センター会員数 4,394人	○		
	H 30	シルバー人材センター会員数 4,495人	シルバー人材センター会員数 4,519人	◎		
	R 1	シルバー人材センター会員数 4,520人	シルバー人材センター会員数 4,575人	◎		
	R 2	シルバー人材センター会員数 4,565人	シルバー人材センター会員数 4,402人	○		
	R 3	シルバー人材センター会員数 4,425人	シルバー人材センター会員数 4,370人	○		
総括		令和元年度までは右肩上がりに会員数が増加していたが、令和2年度からは減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症拡大が大きな要因だと考えられる。コロナウイルスの蔓延により、就業機会が減少してしまったことや感染リスク回避のため外出を自粛しているといったことが会員数の減少に繋がっている。また、在籍会員の平均年齢について、平成29年度には72.1歳であったが、令和3年度には73.1歳となり、会員の高齢化が進んでいる。そのため、「加齢」を理由に退会する会員の割合が増加している。新規入会者の獲得はもちろんであるが、退会会員の抑制も今後の課題であると考えられる。			○	

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1) 地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	① 高齢者・障がい者の社会参加の推進

事業No. 事業名	17	アクティブ・シニア講座	担当課	
			創造都市・文化振興課	
事業内容	高齢社会に対応し、高齢者が地域の中で役割を果たし、生きがいを持って生活ができるように、様々な内容のアクティブ・シニア講座を実施します。(R1～事業名変更)			
5年間の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくり教室の受講者数 2年間 計5,700人 (H29～H30) ・アクティブ・シニア講座の受講者数 3年間 計9,300人 (R1～R3) 			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H29	生きがいづくり教室の受講者数 2,800人	生きがいづくり教室の受講者数 2,744人	○
	H30	生きがいづくり教室の受講者数 2,900人	生きがいづくり教室の受講者数 2,747人	○
	R1	アクティブ・シニア講座の受講者数 3,000人	アクティブ・シニア講座の受講者数 2,365人	○
	R2	アクティブ・シニア講座の受講者数 3,100人	アクティブ・シニア講座の受講者数 1,577人	△
	R3	アクティブ・シニア講座の受講者数 3,200人	アクティブ・シニア講座の受講者数 2,171人	△
総括	計画通りの講座数を開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響により受講者数が伸び悩んだ。			○

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1) 地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	① 高齢者・障がい者の社会参加の推進

事業No. 事業名	18	障害者就労支援事業			担当課
					産業振興課
事業内容	障がい者の安定的な雇用確保と、働きやすい職場環境の向上のため、障がい者の就労に関するセミナーを開催します。				
5年間の目標	セミナー参加者数 5年間計175人				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H29	セミナー参加者数35人/年	・参加者数:30人 ・内容:精神障害者雇用の義務化について	○	
	H30		・参加者数:40人 ・内容:障がい者就労の現状について	◎	
	R1		・参加者数:54人 ・内容:障がい者の職場定着の取り組みについて	◎	
	R2		・参加者数:51人 ・内容:障がい者の職場定着支援やステップアップの取り組みについて	◎	
	R3		・参加者数:51人 ・内容:障がい者の職場定着支援やステップアップの取り組みについて	◎	
総括	5年間の目標数値を達成することができたため、引き続きセミナーを開催し、障がい者の安定的な雇用確保と、働きやすい職場環境の向上のため、障がい者の就労に関する啓発に努める。				◎

事業No. 事業名	19	企業伴走型障害者雇用サポート事業			担当課
					障害保健福祉課
事業内容	障がい者雇用拡大のため、障がい者雇用を実施・検討している企業に継続的な支援や助言を行います。また、研修会等を開催し障がい者雇用の理解促進や、企業間ネットワークの構築等を支援します。				
5年間の目標	企業支援回数 5年間計600回				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H29	企業支援回数 120回/年	122回の支援実現	◎	
	H30		125回の支援実現	◎	
	R1		137回の支援実現	◎	
	R2		134回の支援実現	◎	
	R3		155回の支援実現	◎	
総括	企業へ障害者雇用に関する支援に継続的に入ることで、障害者の雇用の受入体制やネットワークの構築を図ることができた。				◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1) 地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	① 高齢者・障がい者の社会参加の推進

事業No. 事業名	20	特性の違いを超えたスポーツ交流事業			担当課
					スポーツ振興課
事業内容	年齢・性別・能力・国籍等、様々な特性を超えて誰もが楽しめるスポーツ交流を進め、ライフスタイルに応じた生涯スポーツ社会の創出につなげます。				
5年間の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民がスポーツを活動する機会の充実を図る ・生涯を通じてスポーツに取り組むことを目指した市民参加型スポーツ大会、各種スポーツイベントの推進に取り組む 				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツイベントの推進 ・高齢者及び障がい者のスポーツ活動の推進 	浜松みんなのスポーツまつり、浜松市民レクリエーション・スポーツ大会、浜松シティマラソンの計3回のイベントを開催した。	◎	
	H 30		浜松みんなのスポーツまつり、浜松市民レクリエーション・スポーツ大会、浜松シティマラソンの計3回のイベントを開催した。	◎	
	R 1		市民スポーツイベントの推進として「浜松シティマラソン」などを開催した他、「はままつアスリートフェスティバル2019」では、ボッチャ及びブラインドサッカーの実演、体験会を実施し、パラスポーツの普及啓発に努めた。	◎	
	R 2		市民スポーツイベントは市民のコロナウイルス感染予防対策として実施しなかった。ボッチャ用具を小中学校や地域のスポーツ団体へ貸し出すとともに、講師として職員やスポーツ推進委員を派遣し、障がい者スポーツの普及啓発を図った。	△	
R 3	スポーツイベントは新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止した。ボッチャ用具の貸し出しを実施し、障がい者スポーツの普及啓発を図った。また、東京パラリンピックのブラジル選手団の事前合宿地として受入れ、交流を図った。		△		
総括	東京2020パラリンピックのブラジル選手団の事前合宿地として受け入れたが、新型コロナウイルスの影響により、選手との交流の幅が狭まってしまったことは残念であった。ただ、選手団の受け入れにより、共生社会実現に向けての啓発材料としては十分なインパクトを残した。このレガシーを今後のパラスポーツの普及活動に活用していきたい。				○

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1) 地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	② 女性が活躍しやすい環境の整備

事業No. 事業名	21	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業	担当課 産業振興課	
事業内容	誰もが働きやすい職場環境づくりや女性活躍の推進を図るため、仕事と家庭・地域活動等との両立支援などワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所を認証します。			
5年間の目標	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所 令和3年度時点の認証事業所数 120事業所			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	認証事業所数 20事業所	認証事業所数 69事業所	◎
	H 30	認証事業所数 50事業所	認証事業所数 82事業所	◎
	R 1	認証事業所数 80事業所	認証事業所数 88事業所	◎
	R 2	認証事業所数 95事業所	認証事業所数 106事業所	◎
	R 3	認証事業所数 120事業所	認証事業所数 117事業所	○
総括	概ね5年間の目標数値を達成することができた。引き続き、認証事業所の増加に努めるとともに、市内事業所のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。			○

事業No. 事業名	22	女性活躍支援事業	担当課 UD・男女課	
事業内容	20～30代前半の働く女性が、働き続けることの意義を学ぶとともに、キャリアアップにつながるよう支援します。			
5年間の目標	受講者数 5年間計125人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	受講者数 25人／年	「Happy Work Labo」 受講者数 23人	○
	H 30		「Happy Work Labo」 受講者数 23人	○
	R 1		「Happy Work Labo」 受講者数 17人	△
	R 2		「働く女性のためのステップアップ講座」 受講者数 19人	△
	R 3		「働く女性のステップアップ講座」 受講者数 11人	△
総括	令和2年度以降はコロナ禍の影響により受講者募集に苦慮したが、オンラインを取り入れるなどの開催方法の工夫により、5年間を通して概ね目標を達成することができた。			○

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1)地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	② 女性が活躍しやすい環境の整備

事業No. 事業名	23	地域で活躍する女性育成講座		担当課
				UD・男女課
事業内容	社会貢献や社会参画により、地域で活躍する女性の人材育成をめざした講座を開催します。			
5年間の目標	「はままつ女性カレッジ」受講者数 5年間計50人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	「はままつ女性カレッジ」 受講者数 10人／年	受講者数 15人	◎
	H 30		受講者数 13人	◎
	R 1		受講者数 14人	◎
	R 2		受講者数 9人	○
	R 3		受講者数 10人	◎
総括	コロナ禍の影響により令和2年度以降の受講者数は減少したが、ウェブの活用など、開催方法の工夫により、5年間で61人受講と目標値を達成することができた。また、修了生がその後も男女共同参画に関連する活動に関わったり、ロールモデルとして次年度以降の受講者の手本となるなど、人材育成を図ることができた。			◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1)地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	② 女性が活躍しやすい環境の整備

事業No. 事業名	24	女性就労支援事業			担当課
					産業振興課
事業内容		就職を希望する女性を対象に、就職に役立つ内容のセミナーや企業との合同企業説明会を実施し、女性求職者を就職へ導きます。また、女性就労者を対象としたセミナーを開催し、継続就労に対する支援を行います。			
5年間の目標		セミナー参加者数 5年間計680人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H29	セミナー参加者30人	・参加者数:30人 ・内容:メーカーコースとメディカルコースに分かれ、13日間の研修を行った	◎	
	H30	セミナー参加者200人/年	・参加者数:154人 ・内容:就職活動への不安を解消といった心の準備等から、実際の就職活動で採用につながる能力を身につけるまでの段階的なセミナーを行った	○	
	R1	セミナー参加者150人/年	・参加者数:182人 ・内容:就職活動への不安を解消といった心の準備等から、実際の就職活動で採用につながる能力を身につけるまでの段階的なセミナーを行った	◎	
	R2	セミナー参加者150人/年	・参加者数:188人(Web開催) ・内容:就職活動への不安解消といった心の準備等から、実際の就職活動で採用につながる能力を身につけるまでの段階的なセミナーを行った。また、就労中の女性を対象に、継続就労を支援するセミナーを行った	◎	
R3	セミナー参加者150人/年	・参加者数:208人(Web開催) ・内容:就職活動への不安解消といった心の準備等から、実際の就職活動で採用につながる能力を身につけるまでの段階的なセミナーを行った。また、就労中の女性を対象に、継続就労を支援するセミナーを行った	◎		
総括		H30を除き、目標は達成しており、内容を段階的なものにしたことや、Web開催もあり、年々参加者数を伸ばすことができた。5年間で762人の参加があった。			◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1) 地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	② 女性が活躍しやすい環境の整備

事業No. 事業名	25	子育て情報センター運営事業			担当課
					子育て支援課
事業内容	子育て中の親子を支援するため各種の事業を実施するとともに、子育て支援者や関係団体とのネットワークを構築し、リアルタイムな情報提供や託児等のサポート体制の充実を図ります。				
5年間の目標	子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 5年間計7,400,000回				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 1,400,000回	子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 1,709,009回	◎	
	H 30	子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 1,500,000回/年	子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 2,020,204回	◎	
	R 1		子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 2,839,816回	◎	
	R 2		子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 2,894,026回	◎	
	R 3		子育て情報ネットワーク事業の実施による情報提供(アクセス回数) 2,339,761回	◎	
総括	平成29年度から5年度間、目標としていた情報提供(アクセス回数)の指標を達成できた。				◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1) 地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	③ 多文化共生社会の推進

事業No. 事業名	26	多文化共生センター事業	担当課 国際課	
事業内容	誰もが安心して暮らせる共生社会づくりを進めるため、専門スタッフを配置し、多言語による生活相談や情報提供を行うとともに、外国人市民と日本人市民の共生を図るための事業などを実施します。			
5年間の目標	多文化共生センター事業参加者の満足度水準85%(事業参加者アンケート)			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H29	事業参加者の満足度80%	事業参加者の満足度91%	◎
	H30	事業参加者の満足度85%	事業参加者の満足度93%	◎
	R1		事業参加者の満足度98%	◎
	R2		事業参加者の満足度98%	◎
	R3		事業参加者の満足度98%	◎
総括	多文化共生センター事業参加者の満足度水準85%を超えることができた			◎

事業No. 事業名	27	多言語生活情報サイト「カナルハママツ」	担当課 国際課	
事業内容	生活者としての外国人市民が求める情報を提供するため、市ホームページの多言語生活情報サイト「カナルハママツ」で、英語、ポルトガル語、やさしい日本語、タガログ語、中国語により情報を提供します。			
5年間の目標	外国人市民が必要とする生活情報を提供し、外国人市民にとって有益な多言語生活情報サイトの管理運営に取り組む			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H29	掲載情報の随時更新による多言語生活情報の提供	掲載情報を18回更新 アクセス件数197,462件	◎
	H30		掲載情報を11回更新 アクセス件数228,145件	◎
	R1		掲載情報を14回更新 アクセス件数317,107件	◎
	R2		掲載情報を16回更新 アクセス件数382,016件	◎
	R3		掲載情報を14回更新 アクセス件数365,537件	◎
総括	外国人市民が必要とする生活情報を提供することができた			◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(1)地域で支え合う社会の仕組み
基本施策	③ 多文化共生社会の推進

事業No. 事業名	28	外国人学習支援センター事業			担当課
					国際課
事業内容	外国人市民の総合的な学習支援のため、地域のボランティアと連携し、日本語学習支援講座、支援者育成のための学習支援ボランティア養成講座やポルトガル語講座、多文化体験・交流事業等を実施します。				
5年間の目標	外国人学習支援センター事業参加者の満足度水準85%(事業参加者アンケート)				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	事業参加者の満足度80%	事業参加者の満足度96%	◎	
	H 30	事業参加者の満足度85%	事業参加者の満足度98%	◎	
	R 1		事業参加者の満足度92%	◎	
	R 2		事業参加者の満足度94%	◎	
	R 3		事業参加者の満足度93%	◎	
総括	外国人学習支援センター事業参加者の満足度水準85%を超えることができた			◎	

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(2)地域産業と進めるUDの仕組み
基本施策	① 誰もが訪れやすく、暮らしやすい環境整備

事業No. 事業名	29	ユニバーサルツーリズム受入環境整備	担当課 観光CP課	
事業内容	地域のユニバーサルデザイン情報の収集発信を一元化する体制づくりや事業者等とのネットワーク強化を図り、ユニバーサルツーリズムに対応した受入環境整備を促進します。			
5年間の目標	ユニバーサルツーリズム受入環境整備			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	調査・検討	ユニバーサルツーリズムセミナーの開催及びユニバーサルツーリズムモニターツアー実施	◎
	H 30	情報発信拠点整備	ユニバーサルツーリズムセミナーの開催及び観光インフォメーションセンターでの車椅子・ベビーカー貸出実施。	◎
	R 1	継続的な受入環境整備	浜松の魅力を発見・体験することができる浜松魅力発信館「The GATE HAMAMATSU」に観光案内所を設置	◎
	R 2		浜松の魅力を発見・体験することができる浜松魅力発信館「The GATE HAMAMATSU」に観光案内所を継続設置(令和3年3月31日閉館)。観光インフォメーションセンターでの車椅子・ベビーカー貸出実施。	◎
R 3	観光インフォメーションセンターでの車椅子・ベビーカー貸出実施。		◎	
総括	観光インフォメーションセンターで車椅子・ベビーカーを貸し出すことで、ユニバーサルツーリズムに対応した受入環境整備ができた。			◎

事業No. 事業名	30	わかりやすい案内サインの設置	担当課 道路企画課	
事業内容	標識令、道路標識設置基準、しずおか公共サイン整備ガイドライン等に基づき、道路案内標識の種類、表示地名等を統一し、市民や浜松市を訪れる人に対して、分かりやすい案内や誘導を進めます。			
5年間の目標	標識令、道路標識設置基準、しずおか公共サイン整備ガイドライン等に基づき、道路案内標識の種類、表示地名等を統一する			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	案内標識の適正化	浜名湖周辺地域公共サイン整備行動計画(案)に基づいた案内標識を設置。	○
	H 30	・高速道路ナンバリング対応 ・案内標識の適正化	・高速道路ナンバリング対応に向けた設計を実施。 ・浜名湖周辺地域公共サイン整備行動計画(案)に基づいた案内標識を設置。	○
	R 1		・東名高速浜松西IC周辺の案内標識ナンバリングを実施。 ・浜名湖周辺地域公共サイン整備行動計画(案)の見直しを実施。	○
	R 2		・東名高速浜松IC・浜松西IC・三ヶ日IC周辺の案内標識ナンバリングを実施。	○
R 3	・東名高速浜松IC周辺の案内標識ナンバリングを実施。	○		
総括	ガイドライン等に基づく整備を進めることで、訪日外国人をはじめ、全ての利用者にわかりやすい案内標識とすることができた。			○

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(2) 地域産業と進めるUDの仕組み
基本施策	① 誰もが訪れやすく、暮らしやすい環境整備

事業No. 事業名	31	UDプラスinはままつ等の官民連携事業	担当課 UD・男女課	
事業内容	誰にとっても「楽しい・魅力的」といった付加価値をプラスしたUD製品や取り組みを発信する「UDプラス」の開催をはじめ、地元企業との連携によるユニバーサルデザインの普及浸透を進めます。			
5年間の目標	UD製品や取り組みを発信するUD啓発イベント開催数 5年間計5回			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	官民連携のUD啓発イベント 1回/年	UDプラスinはままつ2017開催(展示体験会、シンポジウム) テーマ:2020、UD+な“おもてなし”	◎
	H 30		市民部まつりにおいて「学ぼう! UD・男女共同参画」にて展示体験の開催や、「ブラインドサッカー体験講座」を開催	◎
	R 1		・「ザ・山フェス」において、UD製品やパネルの展示、モビリティの体験、ピクトグラム選手権表彰式を実施 ・「浜松アスリートフェスティバル」において、世界最軽量パラ車いす紹介&体験を実施	◎
	R 2		コロナの影響により中止	×
R 3	コロナの影響により中止		×	
総括	R2・3年はコロナの影響により開催できなかったが、5年間で5回開催し目標を達成する事ができた。			◎

事業No. 事業名	32	浜松市商業者連携促進支援事業	担当課 産業振興課	
事業内容	賑わいのある商店街づくりのため、商業者が自ら課題を抽出し、課題解決に向けて実施する事業の経費の一部について支援します。			
5年間の目標	補助金採択件数 5年間計35件			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	採択件数7件/年	浜松市商業者連携促進支援事業 採択件数:8件	◎
	H 30		浜松市商業者連携促進支援事業 採択件数:8件	◎
	R 1		浜松市商業者連携促進支援事業 採択件数:4件	△
	R 2		浜松市商業者連携促進支援事業 採択件数:9件	◎
	R 3		浜松市商業者連携促進支援事業 採択件数:10件	◎
総括	5年間の目標数値を達成することができた。引き続き申請件数の増加に努めるとともに、補助実施年度以降の事業継続等の進捗管理を行う。			◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(2) 地域産業と進めるUDの仕組み
基本施策	① 誰もが訪れやすく、暮らしやすい環境整備

事業No. 事業名	33	UDビジネスセミナー		担当課
				UD・男女課
事業内容	事業者を対象にユニバーサルデザインを啓発し、事業にユニバーサルデザインの考え方や取り入れる方法を学ぶセミナーを開催します。			
5年間の目標	セミナー参加者数 3年間計150人			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	—	—	—
	H 30	—	—	—
	R 1	セミナー参加者数 50人／年	提案事業(外国人のおもてなし講座) 受講者20人	△
	R 2		コロナの影響により中止	×
R 3	セミナーは実施できなかったが、企業出前講座の協力企業からUD啓発の取組情報を調査収集し、協力企業と共有した。		△	
総括	R2・3年はコロナの影響により開催できなかったため、目標を達成する事ができなかったが、今後の企業UD啓発につながる情報収集ができた。			△

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(3) 誰もが情報を共有できる仕組み
基本施策	① 情報のUD化とUD情報発信

事業No. 事業名	34	広報はままつ等のUD化			担当課
					広聴広報課
事業内容	<p>広報はままつの点字版や外国語版の発行をはじめ、広報はままつでのUDフォントの使用、広報配信アプリの導入や、ホームページをスマートフォン等からの閲覧に対してページデザインを最適化することにより、誰にでもわかりやすく情報を発信します。</p>				
5年間の目標	<p>読みやすいUDフォントを使用した広報はままつの発行、広報はままつの外国語版等の発行実績の維持、広報配信アプリによる情報発信の継続、市ホームページのページデザインを最適化した状態での情報提供</p>				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	<ul style="list-style-type: none"> ・広報はままつの外国語版等の発行(毎月1回) ・広報配信アプリによる情報発信(毎月1回) ・市ホームページのページデザインを最適化した状態での情報提供 	目標通りに実施	◎	
	H 30	H29年度の内容に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はままつを多言語(7言語)翻訳し、広報配信アプリによるUDフォントでのテキスト表示と、自動音声読み上げ 	目標通りに実施	◎	
	R 1	H30年度の内容に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はままつの文字の一部をUDフォントに変更 ・広報はままつを多言語(10言語)翻訳し、広報配信アプリによるUDフォントでのテキスト表示と自動音声読み上げ 	目標通りに実施 ※広報はままつ7月号からUDフォント使用	◎	
	R 2	R1年度の内容に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はままつの文字にUDフォントを使用 	目標通りに実施 ※広報はままつを多言語(11言語)翻訳し、広報配信アプリによるUDフォントでのテキスト表示と自動音声読み上げ	◎	
	R 3	R2年度の内容に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はままつ専用ホームページでの多言語及びやさしい日本語への翻訳、自動音声読み上げ 	目標通りに実施 ※広報はままつの一部ページをやさしい日本語で表記、広報はままつのやさしい日本語翻訳のPDF版を市ホームページに掲載、広報配信アプリによるテキスト表示と100言語での自動翻訳、自動音声読み上げ、やさしい日本語での変換表示	◎	
総括	<p>広報はままつへのUDフォントの導入、多言語翻訳の導入、やさしい日本語版(PDF)の市ホームページへの掲載など、市民に必要な市政情報を様々な形態で発信することができた。</p>			◎	

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(3) 誰もが情報を共有できる仕組み
基本施策	① 情報のUD化とUD情報発信

事業No. 事業名	35	ICTを活用した遠隔手話通訳サービス	担当課 障害保健福祉課	
事業内容	市役所及び区役所にタブレット型端末を配置し、テレビ電話機能を活用した画面越しの手話通訳を行います。			
5年間の目標	市役所及び区役所に配置されているタブレット型端末のテレビ電話機能を活用し、画面越しの手話通訳を行うことで、窓口サービス等の利便性の向上を図る。			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	各区に設置のタブレット型端末の活用	手話通訳者が不在の時に活用した。	◎
	H 30		手話通訳者が不在の時に活用した。	◎
	R 1		手話通訳者が不在の時に活用した。	◎
	R 2		手話通訳者が不在の時に活用した。	◎
	R 3		手話通訳者が不在の時に活用した。	◎
総括	5年間の目標を達成することができた。窓口サービス等の利便性の向上に努めるとともに、新技術を取り入れていく。			◎

事業No. 事業名	36	タブレット端末等を利用した多言語通訳	担当課 国際課	
事業内容	外国人市民の多国籍化を踏まえ、英語、ポルトガル語以外の言語に対応するため、タブレット端末を使用した多言語通訳を導入し、窓口サービスの向上を図ります。			
5年間の目標	タブレット端末の活用による多言語相談支援に取り組む。			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	—	—	—
	H 30	タブレット端末を使用した多言語通訳導入について検証 庁内窓口業務への試験的導入 (年間使用時間2,160分)	年間使用時間2,338分	◎
	R 1	各区における多言語相談サービスの定着(年間使用時間2,520分)	年間使用時間5,247分	◎
	R 2	各区における多言語相談サービスの定着(年間使用時間4,200分)	年間使用時間4,769分	◎
	R 3	各区における多言語相談サービスの定着(年間使用時間4,200分)	年間使用時間6,502分	◎
総括	多言語通訳を通して円滑な窓口サービスを支援できた。			◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(3)誰もが情報を共有できる仕組み
基本施策	① 情報のUD化とUD情報発信

事業No. 事業名	37	音声文字化変換システム	担当課 UD・男女課	
事業内容	外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、タブレット端末を活用し、音声文字化アプリケーションによるコミュニケーション支援ができる環境づくりを図ります。			
5年間の目標	音声文字化アプリケーションの活用によるコミュニケーション支援に取り組む			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	—	—	—
	H 30	—	—	—
	R 1	各区窓口での音声文字化アプリケーションの利用実績 20件	各区窓口利用数 28回	◎
	R 2	各区窓口での音声文字化アプリケーションの利用実績 25件	各区窓口利用数 24回	○
R 3	各区窓口での音声文字化アプリケーションの利用実績 30件	各区窓口利用数 12回	△	
総括	コミュニケーションツールの1つとして、市民が必要な支援の選択肢を広げることができた。また、区役所以外に配置されているタブレットにも、アプリケーションをインストールし、来庁者への対応に活用する部署が増えた。			○

事業No. 事業名	38	わかりやすい印刷物作成の手引き作成	担当課 UD・男女課	
事業内容	パンフレットやチラシ、ポスター等の印刷について、誰もが情報を入手しやすいようにカラーユニバーサルデザインや配慮方法等に関する手引きを作成します。			
5年間の目標	わかりやすい印刷物の手引き作成および配布			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	研究・検討	内容の検討及び手引き(案)の一部作成	◎
	H 30	作成	3,000部作成し全庁各課に配布	◎
	R 1	配布	ガイドブックを市HP及び学校用グループウェア(ミライム)に掲載	◎
	R 2		ガイドブックを市HP及び学校用グループウェア(ミライム)に掲載	◎
R 3	ガイドブックを市HP及び学校用グループウェア(ミライム)に掲載		◎	
総括	ガイドブック作成後、市HPに掲載し有効活用している。また本庁内部署から新しい刊行物のMUDチェックの依頼を受け対応している。			◎

基本目標Ⅱ 推進事業

基本目標	Ⅱ みんなで支え合う“しくみ”
基本方針	(3)誰もが情報を共有できる仕組み
基本施策	① 情報のUD化とUD情報発信

事業No. 事業名	39	地域のUD情報等発信			担当課
					観光CP課
事業内容		誰もが訪れやすく、暮らしやすいまちづくりを進めるために、地域の宿泊施設、文化・観光施設、公共交通、トイレ等のユニバーサルデザイン情報を収集し、様々な媒体を活用して誰にでもわかりやすく提供します。			
5年間の目標		地域の宿泊施設、文化・観光施設等のUD情報発信			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	ユニバーサルツーリズムガイドブック作成	ユニバーサルツーリズムガイドブック(日本語版)の作成及び観光情報サイト更新(浜松だいきネットへ施設のUD情報掲載)	○	
	H 30	ガイドブック外国語版作成	舘山寺ガイドマップ(英語版・ポルトガル語版)作成	◎	
	R 1	様々な媒体を活用した情報発信	観光情報サイト「浜松・浜名湖だいきネット」での施設UD情報の掲載及び発信	◎	
	R 2		観光情報サイト「浜松・浜名湖だいきネット」での施設UD情報の継続掲載及び継続発信。	◎	
R 3	観光情報サイト「浜松・浜名湖だいきネット」での施設UD情報の継続掲載及び継続発信。		◎		
総括		紙媒体のガイドブックとインターネット媒体の観光情報サイトの2媒体を活用することで、幅広い利用者にユニバーサルデザイン情報を提供できた。			◎

事業No. 事業名	40	SNS等を活用したUD情報発信			担当課
					UD・男女課
事業内容		ユニバーサルデザインに関する様々な情報をSNS等を活用して発信し、市民等に対するユニバーサルデザインの意識啓発を行います。			
5年間の目標		フェイスブックを活用したUD情報の発信			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	準備・発信	投稿回数 237回	◎	
	H 30	発信	投稿回数 203回	◎	
	R 1		投稿回数 52回	◎	
	R 2		投稿回数 49回	◎	
R 3	投稿回数 47回	◎			
総括		イベント周知や身近なUD施設などの情報を配信することができた。			◎

基本目標Ⅲ 推進事業

基本目標	Ⅲ 誰もが暮らしやすい“まち”
基本方針	(1) 公共施設等が利用しやすいまち
基本施策	① 誰もが利用しやすい施設

事業No. 事業名	41	公共建築物等のUD化推進		担当課
				公共建築課
事業内容	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」や「浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン指針」に基づき、誰もが利用しやすい公共建築物等のユニバーサルデザイン化整備を進めます。			
5年間の目標	不特定多数の市民等が利用する施設において、エレベーターの新設等のユニバーサルデザイン化整備を実施する。			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	UD度：59.00点	協働センター等についてUD化整備工事を実施し、目標の59.00点に対して59.26点と目標を達成できた。	◎
	H 30	UD度：60.00点	協働センター等についてUD化整備工事を実施したが、未調査の21施設を追加したことから、対象数が増加し、目標の60.00点に対して59.66点となり、目標を達成できなかった。	○
	R 1	UD度：60.00点	協働センター等についてUD化整備工事を実施し、目標の60.00点に対して60.02点と目標を達成できた。	◎
	R 2	UD度：61.00点	天竜保健福祉センター等についてUD化整備工事を実施したが、目標の61.00点に対して60.23点と目標を達成できなかった。	○
	R 3	UD度：62.00点	引佐多目的研修センター等についてUD化整備工事を実施したが、目標の62.00点に対して60.51点と目標を達成できなかった。	○
総括	不特定多数の市民等が利用する施設において、ユニバーサルデザイン化整備を実施し、概ね達成することができた。			○

	42	公園のUD化推進		担当課
				公園課
事業内容	子供からお年寄りまで、誰もが安全で安心して利用できるよう、公園施設のユニバーサルデザイン化整備を進めます。			
5年間の目標	全ての新規公園の公園施設については、ユニバーサルデザインに配慮した公園整備を行う。			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	ユニバーサルデザインに配慮した新規公園の整備 ※すべての人にやさしい公園動線上の段差解消や幅員確保、各年齢層にあった遊具、多目的トイレや園内案内看板の設置など	新規開設 1か所	◎
	H 30		新規開設 1か所	◎
	R 1		新規開設 1か所	◎
	R 2		新規開設 2か所	◎
R 3	新規開設 0か所		○	
総括	新規開設公園においては、すべての公園においてユニバーサルデザインに配慮した整備を行うことができた。			◎

基本目標Ⅲ 推進事業

基本目標	Ⅲ 誰もが暮らしやすい“まち”
基本方針	(1)公共施設等が利用しやすいまち
基本施策	① 誰もが利用しやすい施設

事業No. 事業名	43	スポーツ施設のUD化推進			担当課
					スポーツ振興課
事業内容	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う事前キャンプや各種国際大会、全国大会等の誘致推進や、すべての人が安心・安全に利用できるようスポーツ施設のユニバーサルデザイン化を進めます。				
5年間の目標	平成31年度からスタートする第2期スポーツ推進計画に、浜松市ユニバーサルデザイン計画の考え方を反映し、スポーツ施設のユニバーサルデザイン化を着実に進める。				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	施設の新增築・改築、改修の効率的なUD化整備	三ヶ日B&G海洋センター階段手すり設置工事、旧三ヶ日体育館屋外トイレ改修工事の2工事を実施	◎	
	H 30		UD対策工事として、四ツ池公園運動施設の歩道切下げ工事、浜松アリーナ東側通路不陸対策工事の2工事を実施	◎	
	R 1		新橋体育センター障害者用トイレ改修工事を実施	◎	
	R 2		四ツ池運動施設障がい者用トイレ改修工事を実施 天竜B&Gセンター施設トイレ洋式化工事を実施	◎	
R 3	天竜ボート場月艇庫女子トイレ洋式化工事、可美公園水泳場身体障害者用駐車場修繕工事を実施		◎		
総括	改修工事等により、施設のUD化を進めることができた。今後も計画的にUD化を推進していく。				◎

基本目標Ⅲ 推進事業

基本目標	Ⅲ 誰もが暮らしやすい“まち”
基本方針	(1) 公共施設等が利用しやすいまち
基本施策	② 快適で安全な公共交通

事業No. 事業名	44	民間交通事業者UD化支援			担当課
					交通政策課
事業内容	民間交通事業者が実施するユニバーサルデザイン化設備事業等に要する経費の一部を支援することにより、快適で安全な公共交通の環境整備づくりを促進します。				
5年間の目標	ユニバーサルデザイン化設備事業への支援により、公共交通の快適性や安全性を向上させる				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H29	ユニバーサルデザイン化設備事業への支援により、公共交通の快適性や安全性の向上	浜北駅バリアフリー化設備整備及びUDタクシー導入の支援補助	◎	
	H30		UDタクシー導入の支援補助	◎	
	R1		UDタクシー導入の支援補助	◎	
	R2		・UDタクシー導入の支援補助 ・八幡駅バリアフリー化整備費補助	◎	
	R3		・UDタクシー導入の支援補助 ・八幡駅バリアフリー化整備費補助	◎	
総括	予定どおり5年間の目標数値を達成することができた。引き続き、民間交通事業者が実施するユニバーサルデザイン化設備事業等に要する経費の一部を支援し、公共交通の快適性や安全性の向上を図る。				◎

事業No. 事業名	45	JR天竜川駅のUD化整備			担当課
					道路企画課
事業内容	JR天竜川駅南北自由通路の新設に伴い、現在の駅舎を橋上化し、エレベーターの新設や、多機能トイレ設置等のユニバーサルデザイン化整備を進め、利用者や周辺住民の利便性を高めます。				
5年間の目標	平成29年度供用開始				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H29	自由通路新設及び橋上駅舎化工事 ※供用開始	平成29年9月24日供用開始	◎	
	H30	仮駅舎撤去及び電線・線路等復旧工事 (事業完了予定)	仮駅舎撤去及び電線・線路等復旧工事 完了	◎	
	R1	—	—	—	
	R2	駅前広場整備 ※南北駅前広場供用開始	令和2年10月1日供用開始	◎	
	R3	—	—	—	
総括	事業を着実に実施し、平成29年9月に自由通路新設等の供用を開始した。駅の利便性も向上し、乗降客数が増加した。				◎

基本目標Ⅲ 推進事業

基本目標	Ⅲ 誰もが暮らしやすい“まち”
基本方針	(1) 公共施設等が利用しやすいまち
基本施策	③ みんなにやさしい道づくり

事業No. 事業名	46	道路施設のUD化推進	担当課	
			道路企画課	
事業内容	「浜松市道路施設ユニバーサルデザイン指針」に基づき、子供や高齢者など交通弱者が、安全に安心して通行できる道路交通環境の改善を図ります。			
5年間の目標	歩行者優先の観点から市内交差点の平面横断化を進める。			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	北寺島町交差点の平面横断化を推進	平面横断化に向けて詳細設計を実施中。	○
	H 30	北寺島町交差点の平面横断化を推進	北寺島町交差点、砂山東交差点の平面横断化に向けた詳細設計を実施。	○
	R 1	北寺島町交差点の平面横断化を完了 砂山東交差点の平面横断化を推進	北寺島町交差点の平面横断化が完了。	○
	R 2	砂山東交差点の平面横断化を推進	砂山東交差点の平面横断化を実施中。	○
R 3	砂山東交差点の平面横断化を完了	砂山東交差点の平面横断化が完了	◎	
総括	平面横断化の推進により道路交通環境の改善が図られた。			◎

事業No. 事業名	47	自転車道の整備	担当課	
			道路企画課	
事業内容	「浜松市自転車活用推進計画」に基づき、都市内交通手段として有効である自転車の利活用に着目した整備を計画的に推進します。			
5年間の目標	「浜松市自転車活用推進計画」に基づき、短期整備区間 約47.8kmについて、整備進捗を図る。			
年度計画	年度	目標	実施内容	評価
	H 29	国道257号、152号 伝馬町～市役所前 矢羽根型路面表示の設置	平成29年12月14日供用開始	◎
	H 30	国道152号 市役所前～下池川町 矢羽根型路面表示の設置	平成30年12月7日供用開始	◎
	R 1	国道152号 下池川町～中沢町南 矢羽根型路面表示の設置	令和2年1月31日供用開始	◎
	R 2	国道152号 中沢町 矢羽根型路面表示の設置	令和2年10月2日供用開始	◎
R 3	国道257号 連尺町、曳馬中田島線 中田島町、浜松雄踏線 入野町ほか 矢羽根型路面表示の設置	令和3年12月22日供用開始	◎	
総括	計画に基づく事業進捗が図られた。			◎

基本目標Ⅲ 推進事業

基本目標	Ⅲ 誰もが暮らしやすい“まち”
基本方針	(2) 誰もが安全・安心に暮らせるまち
基本施策	① 安全・安心な防災体制の充実

事業No. 事業名	48	災害情報伝達手段の整備			担当課
					危機管理課
事業内容	地域の現状、災害特性及び課題を踏まえ、想定される災害に対し、あらゆる世代に対して最も有効な災害情報伝達手段を整備します。				
5年間の目標	想定される災害に対し、あらゆる世代に対して最も有効な災害情報伝達手段を整備				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	関係部局等調整	関係部局等調整	◎	
	H 30	実施設計	システム構成及び屋外拡声子局置局検討等	◎	
	R 1	通信システム工事	システム構築及び屋外拡声子局設置	○	
	R 2	通信システム工事完成	屋外拡声子局設置	○	
	R 3	供用開始、工事完了	屋外拡声子局設置	○	
総括	コロナの影響により、供用開始が、当初の予定より、半年間延期となっ てしまったが、工事が完了し、新たな情報配信手段が整備された。 今後、災害情報の入手方法について、多くの市民へ周知を行っていき たい。				○

事業No. 事業名	49	土砂災害警戒区域の警戒避難体制の整備			担当課
					危機管理課
事業内容	土砂災害警戒区域内における住民の被害防止及び減少のため、積極的な情報提供や情報伝達など、住民自らの避難判断の向上と避難行動をとるための警戒避難体制を整備します。				
5年間の目標	ハザードマップ作成数 平成30年度末1,845箇所				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H 29	ハザードマップ作成数(現在1,309箇所) 266箇所(合計1,575箇所)	ハザードマップ作成数 502箇所(合計1,758箇所)	◎	
	H 30	ハザードマップ作成数 270箇所(合計1,845箇所)	ハザードマップ作成数 305箇所(合計2,063箇所)	◎	
	R 1	随時作成	ハザードマップ作成数 26箇所(合計2,089箇所)	◎	
	R 2	随時作成	ハザードマップ作成数 159箇所(合計2,248箇所)	◎	
	R 3	随時作成	ハザードマップ作成数 13箇所(合計2,261箇所)	◎	
総括	ハザードマップの作成及び住民への配付がコロナの影響などで進まな かった。引き続き、業務を推進する。				◎

基本目標Ⅲ 推進事業

基本目標	Ⅲ 誰もが暮らしやすい“まち”
基本方針	(2) 誰も安全・安心に暮らせるまち
基本施策	① 安全・安心な防災体制の充実

事業No. 事業名	50	消防情報通信ネットワーク事業			担当課
					情報指令課
事業内容	緊急時や災害時において速やかに対応するため、災害弱者等の情報を指令管制システムへ取り込み、活動隊への支援情報として活用します。				
5年間の目標	情報を活用するため、指令管制員の情報伝達に係る技量の維持、向上を図る				
年度計画	年度	目標	実施内容	評価	
	H29	技量の確認のための指令管制検定、技量の維持・向上のためのシミュレーションの実施	指令管制検定等の実施により、情報伝達に係る技量の維持、向上を図った。	◎	
	H30		指令管制検定及びシミュレーション訓練を実施し、情報伝達に係る技量の向上を図った。	◎	
	R1		指令管制検定及びシミュレーション訓練を実施し、情報伝達に係る技量の向上を図った。	◎	
	R2		指令管制検定及びシミュレーション訓練を実施し、情報伝達に係る技量の向上を図った。	◎	
	R3		指令管制検定及びシミュレーション訓練を実施し、情報伝達に係る技量の向上を図った。	◎	
総括	目標とした検定を毎年度実施するとともにシミュレーション及び訓練を毎年複数回行うことで、指令管制員の情報伝達に係る技量の維持を図ることができた。				◎